

東京ジョー (1949)

TOKYO JOE

メディア 映画

ジャンル アクション

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 88分

初公開日 1993/12/18

公開情報 日本ヘラルド映画

【解説】

49年、戦後まもない東京に、一人の男が帰ってきた。かつて彼は、銀座に“Tokyo Joe's”というレストランを経営していたが、大戦にパイロットとして従軍。その間に店は人手に渡り、妻は占領軍将校と幸せな再婚生活を送っていた。彼の名はジョー。再会した旧友イトウに紹介されたキムラ男爵から、戦争中の妻の過ち（東京ローズは彼女だった！）をネタに脅かされ、韓国から日本人戦犯を脱出させる企てに加わる。が、その一方で、計画を捜査官にリークする。しかし、裏切りは出発直前に発覚、男爵はジョーの愛娘を誘拐したと告げる……。ボギーが羽田から輪タクに乗り“イッチョウメ、ギンザ……”と行き先を伝えるだけで大爆笑。啞え煙草をポイ捨てしようもんなら、たちまち浮浪者が群がる。イトウと旧交を温めるにも、まずは昔取った杵柄の柔道の取っ組み合い……。と、前半は苦しいのですが、後半はごく普通のハード・ボイルドに納まって参ります。監督が「ダラス」のベテラン、ヘイスラーだからね。

【クレジット】

監督	スチュアート・ヘイスラー	Stuart Heisler
原案	スティーヴ・フィッシャー	Steve Fisher
脚本	バートラム・ミルハウザー	Bertram Millhauser
	シ rilル・ヒューム	Cyril Hume
撮影	チャールズ・ロートン・J r	Charles Lawton Jr.
音楽	ジョージ・アンセイル	George Antheil
出演	ハンフリー・ボガート	Humphrey Bogart
	早川雪洲	Sessue Hayakawa
	アレクサンダー・ノックス	Alexander Knox
	フローレンス・マーリー	Florence Marly
	テル・シマダ	Teru Shimada
	ジェローム・コートランド	Jerome Courtland